第４　近代的な果樹園経営の基本的指標

１　目標とすべき10アール当たりの生産量及び労働時間

生産性の高い果樹園経営を実現することを旨として、単収及び労働時間に関する指標を果樹の種類ごとに設定する。

２　果樹園経営の指標

生産性の高い果樹農業の展開を図るため、経営体の具体的な姿として、代表的な経営類型ごとに経営モデルを示す。

１　目標とすべき10アール当たりの生産量及び労働時間

区分／果樹の種類		10アール当たり生産量	10アール当たり労働時間	摘要
		キログラム	時間	
かんきつ類の果樹	うんしゅうみかん	2,700	104	隔年交互結実栽培、刈り込み機剪定
		5,500	539	加温施設栽培
		3,200	148	ヒリュウ台利用、傾斜地用作業機
		3,000	126	ヒリュウ台利用、中型スピードスプレーヤー
		3,200	153	ヒリュウ台利用､多目的スプリンクラー(傾斜地)
		3,200	159	マルドリ方式、傾斜地用作業機
	なつみかん	4,500	165	傾斜地用作業機
		4,500	148	中型スピードスプレーヤー
	はっさく	3,600	157	傾斜地用作業機
		3,600	141	中型スピードスプレーヤー
	いよかん	2,700	148	傾斜地用作業機
		2,700	128	中型スピードスプレーヤー
	不知火	3,000	164	傾斜地用作業機
		3,000	154	中型スピードスプレーヤー
	レモン	3,500	173	傾斜地用作業機
りんご		3,000	211	普通樹形
		3,600	175	わい化栽培
		3,600	149	わい化・葉とらず栽培
		4,000	116	加工用途向け
ぶどう	小粒系	1,800	367	露地栽培
		1,800	451	無加温施設栽培
		1,800	475	加温施設栽培
	大粒系	1,500	305	露地栽培
		1,500	391	無加温施設栽培
		1,500	417	加温施設栽培
なし	青なし	4,500	311	自家和合性品種利用
	赤なし	3,000	213	省力樹形
	西洋なし	3,000	205	樹体ジョイント栽培
		3,200	220	
もも		2,300	179	低樹高仕立て
おうとう		600	294	雨よけ施設栽培
びわ		1,100	294	
かき		2,500	156	
くり		350	51	低樹高仕立て
うめ		2,000	125	
すもも		2,000	201	
キウイフルーツ		2,500	211	溶液受粉
パインアップル		4,000	35	露地栽培
		4,000	105	無加温施設栽培

㈱　１．りんごはふじ、ぶどうのうち小粒系はデラウェア（ジベレリン処理）、大粒系は巨峰、なしのうち青なしはおさゴールド、赤なしは幸水、ももは白鳳、おうとうは佐藤錦、かきは富有によるものとする。

２．10アール当たり生産量及び労働時間は成園に係るものである。

３．マルドリ方式とは、地表面を全面マルチするとともに、点滴潅水を行い、高糖度かんきつを安定的に栽培する技術。

４．樹体ジョイント栽培とは、複数樹の主枝を接ぎ木連結し、直線状の集合樹に仕立てることで、整枝・剪定作業等を容易化する技術。

５．労働時間については、今回から出荷（選別・包装・荷造りの作業や、共選場・共販場への搬出）にかかる時間を算入した。